

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	070200	TEL	2998-9124
事業コード	ファミリーサポート事業	子ども支援課				
070206		グループ	総務担当			
開始年度 平成 12 年度		→	終了年度		年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市子ども・子育て支援事業計画、所沢市男女共同参画計画			所沢市ファミリーサポートセンター事業実施要綱 所沢市緊急サポート事業実施要綱
	関連・類似事業				
	総合計画の体系	章 健康・福祉	節 子ども支援	基本方針	子育て家庭の支援の充実
事業開始の背景	平成6年、国において仕事と育児両立支援特別援助事業実施要綱が制定された。本市においても仕事と育児を両立できる環境づくりのため、平成12年8月に女性センター(現・男女共同参画推進センターふらっと)内にファミリーサポートセンターを設置し、同10月に事業を開始した。平成14年5月1日より運営を所沢市社会福祉協議会に委託した。また、厚生労働省の委託事業として緊急サポート事業を県内のNPOが受託して実施されてきたが、平成21年度に国が撤退したため市の委託事業として継続している。				

③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	地域において子育てに関する相互援助活動を行うことにより、安心して子育てができるような環境整備を行う。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	3,959 人
	会員登録数			平成 27 年度	4,167 人
事業の具体的な内容及び実施方法	【所沢市ファミリーサポートセンター事業】 ・育児の援助を受けたい者(利用会員…市内在住・在勤で0~12歳の子どもを養育している)と、育児の援助を行いたい者(援助会員…市内在住で20歳以上。講習会の受講が必須)を組織化し、地域での相互援助活動を行う。センターは利用会員の希望に基づき、希望(保育施設の開始時間までの預かり、送迎、沐浴援助など)に合致する援助会員を紹介する。 【謝礼額の目安】 ●平日…7:00~19:00/1時間700円(左記以外/1時間800円) ●土・日・祝日・年末年始 … 終日/1時間800円 【緊急サポート事業】 ・病児や病後児、宿泊を伴う保育援助を受けたい者(利用会員)と援助を行いたい者(サポート会員)を組織化し、会員同士の紹介を行う。 【謝礼額の目安】 ●平日…8:00~20:00/1時間1,000円(左記以外/1時間1,200円) ●宿泊…1泊10,000円(18:00~翌9:00の間の必要な時間)				

④経費	《会計種別》	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
	予算現額		15,192	15,192	15,192
	決算(見込み含む)		15,120	15,120	
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)
	正規職員人件費	0.28 人	2,442	0.20 人	1,732
	事業費合計		17,562	16,852	
財源内訳	一般財源	7,482	6,772	5,112	
	国・県支出金	10,080	10,080	10,080	
	その他()				

※「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑤実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	延べ利用件数	年間活動件数	件	9,895	12,689	13,000	13,530
		利用会員数	年度末現在	人	3,489	3,717	3,900	4,000
		援助会員数	年度末現在	人	482	450	480	1,200

⑥成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	援助会員数充足度	援助会員÷利用会員数×100	%	目標値	30	30	30
					実績	16	12	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図る <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図る
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています			%	達成率	53	40	↑どちらかをチェックしてください

⑦改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	市内での乳幼児健診や児童館等に於いて広報活動を行うだけでなく、乳幼児全戸訪問の際にチラシを配布する等行ったため、利用会員が増加した。	利用会員は順調に増加しているが、援助会員の中心となっている60代の就労が増加しているため、援助会員になるために必修となっている講習会の参加が難しくなっていると思われる。

⑧評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可) <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	利用しやすい事業とするためには援助会員の増加が必要である。援助会員講習会について積極的な広報を行ない、援助会員の増加に努めるため。
		次年度予算	理由	今年度と同程度の支出を見込んでいるため。
	(1)平成28年度に取り組んでいる状況		(2)今後の方向性	
引き続き、各まちづくりセンター・児童館・保育園等の市内の児童関連施設にポスター掲示やチラシの配布を行う。受講しやすい講習会の日程を検討するなど、援助会員の増加に努める。		広報活動による利用会員の増加と、援助会員の講習会について積極的な広報を行なうことにより援助会員を増加させ、地域における援助活動を促進する。		
ちr	H28.8.18	評価者職氏名	子ども支援課長 浅見 仙隆	

⑨環境影響	有益な環境影響	有害な環境影響を及ぼす原因活動	紙の使用・車の使用	規制を受ける環境法令等	無
				緊急事態	無